

# 「2023 年度メンテナンス実態調査」報告書

## 目 次

### <概要編>

1. 回答母集団	9
(1) 回答業種	9
(2) 年間出荷額と従業員規模	10
(3) 生産量の動向	10
2. 設備管理・保全の状況	11
(1) 保全の難しさの状況	11
(2) 設備管理・保全業務を取り巻く環境の変化	11
(3) 設備管理・保全に対する経営層や他部門などからの評価	12
(4) 設備管理・保全の業務量	12
(5) 資源の過不足感	13
(6) 設備起因の損失状況と高経年設備状況	13
(7) 負荷が高くなっている事項	14
3. 設備管理・保全業務の力量	15
(1) 保全組織体制	15
(2) 設備故障・不具合の状況	15
(3) 「現在業務に必須な能力」と「これからの業務に必要な能力	16
4. 設備管理・保全の重点施策	17
(1) 高経年設備への対策状況	17
(2) マネジメント面での対策状況	17

(3) 基本事項の整備に関する対策状況	17
(4) 人材育成の対策状況	17
(5) カーボンニュートラルへの対応に関する対策状況	17
(6) 保全を高度化する取組み	18
(7) 情報技術の活用状況	19
(8) 現場活動の状況	20
5. 設備管理・保全に関する費用	20
(1) 「総保全費」の予算対象設備の費用割合	21
(2) 「総保全費」の決定基準	21
(3) 「保全費」の性格別分類の比率	22
6. 設備管理・保全の組織や体制	22
(1) 保全部門の設置	23
(2) 保全部門を設置していない場合の保全担当（社内）	23
(3) 保全部門の専門別職能割合	24
(4) 設備管理人員数の現状	24
7. 海外生産の状況	25
(1) 海外生産現地の問題点	25
(2) 海外生産シフトへの対応	25
8. エンジニアリング企業の技術動向	26
(1) 異常故障の早期発見	26
(2) 総合的な設備管理	26
(3) 予知検査と機能回復	27
<エンジニアリング企業情報>	28

## ＜詳細編＞

1. 回答母集団	31
(1) 回答業種	31
(2) 年間出荷額と従業員規模	32
(3) 生産量の動向	33
2. 設備管理・保全の状況	34
(1) 保全の難しさの状況	34
(2) 設備管理・保全業務を取り巻く環境の変化	35
(3) 設備管理・保全に対する経営層や他部門などからの評価	36
(4) 設備管理・保全の業務量	37
(5) 資源の過不足感	38
(6) 設備起因の損失状況と高経年設備状況	40
(7) 負荷が高くなっている事項	41
3. 設備管理・保全業務の力量	42
(1) 保全組織体制	42
(2) 設備故障・不具合の状況	43
(3) 「現在業務に必須な能力」と「これからの業務に必要な能力」	44
4. 設備管理・保全の重点施策	48
(1) 高経年設備への対策状況	48
(2) マネジメント面での対策状況	48
(3) 基本事項の整備に関する対策状況	49
(4) 人材育成の対策状況	49
(5) カーボンニュートラル（CN）への対応に関する対策状況	50

(6) 保全を高度化する取組み	51
(7) 情報技術の活用状況	53
5. 設備管理・保全に関する費用	63
(1) 「総保全費」の予算対象設備の費用割合	63
(2) 「総保全費」の決定基準	64
(3) 「保全費」の性格別分類の比率	66
6. 設備管理・保全の組織や体制	67
(1) 保全部門の設置	67
(2) 保全部門を設置していない場合の保全担当（社内）	67
(3) 保全部門の専門別職能割合	68
(4) 設備管理人員数の現状	69
7. 海外生産の状況	70
(1) 海外生産現地の問題点	70
(2) 海外生産シフトへの対応	71
8. エンジニアリング企業の技術動向	72
(1) 異常故障の早期発見	72
(2) 総合的な設備管理	72
(3) 予知検査と機能回復	73
<エンジニアリング企業情報①>	74
<エンジニアリング企業情報②>	75
9. 参考分析「保全の不安度」と「情報技術選択」の関係	76
10. 参考分析「高経年設備の動向」と「情報技術選択」の関係	80
<質問票>	84